

政策5

集い つながり 活気あふれるまち

<産業分野>

政策 05 集い つながり 活気あふれるまち

施策 01 農業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市内の農業者	農業生産額が増加しています。

施策の成果状況と評価

指標①	農業総生産額			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	社会	業務取得	上がると良い	農政課	百万円	208	173		271
評価	各年度の指標は2か年前の値。県統計値です。								---
	(状況) 平成30年度の指標値(平成28年度実績)が、宮城県から公表されていません。								目標達成度

指標②	作付面積			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	農政課	ha	250	171	166	265
評価	(状況) 平成30年度は166haで、後期基準値より84ha、平成29年度より5ha減少しています。								目標達成度
	(原因) 平成28年度から面的整備に着手しているほ場整備事業において、既に整備を終えた北部・西部工区の作付けは再開していますが、事業3年目となる平成30年度に中部・東部工区が面的整備に着手したことにより、水田の作付けができなかったことが、要因です。面的整備の完了見込みの平成31年度までは、休耕地が生じることから、後期基準値に比べ低い数値となることが予想されます。								■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 担い手の育成と経営安定化
基本事業 02 生産性が高い農業経営基盤の整備
基本事業 03 地産地消の推進

基本事業01 担い手の育成と経営安定化

指標①	農業生産組織数(累計)				単位	基準値(H26)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	農政課	組織	0	3	4	6	<p>(組織)</p> <p>☀ (向上)</p> <p>■ 目標達成度</p> <p>■ (中)</p>
評価	目標値は平成28年度を初年度とする5年間の累計(実績値も同様の考え方) (状況) 平成30年度は4組織で、後期基準値より4組織、平成29年度より1組織増加しています。 (原因) ほ場整備事業の進捗に伴い、農地の集約化が進み、大規模な大豆転作等の集落営農を目的とした法人が1社設立されたことが、要因です。									

基本事業01 担い手の育成と経営安定化

指標②	担い手農業者数				単位	基準値(H26)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	農政課	人	38	60	61	60	<p>(人)</p> <p>☀ (向上)</p> <p>■ 目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>
評価	(状況) 平成30年度は61人で、後期基準値より23人、平成29年度より1人増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 平成30年度には新たに大豆転作等の集落営農を目的とした法人1社が認定農業者となるなど、ほ場整備事業の進捗に伴い、地域の担い手としての認定農業者等が、順調に増えていることが要因です。									

基本事業02 生産性が高い農業経営基盤の整備

指標①	ほ場整備面積(累計)				単位	基準値(H26)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	農政課	ha	0	181	263	283	<p>(ha)</p> <p>☀ (向上)</p> <p>■ 目標達成度</p> <p>■ (高)</p>
評価	目標値は令和2年度までの累計(実績値も同様の考え方) (状況) 平成30年度において中部・東部工区82haの面的整備が完了したことにより、累計整備面積が263haとなっています(整備計画:平成27~令和2年度)。 (原因) ほ場整備事業による農業生産基盤の整備(面的整備・ハード事業)実施が、要因です。									

基本事業02 生産性が高い農業経営基盤の整備

指標②	宝堰用水路整備延長(累計)				単位	基準値(H26)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	農政課	km	0	1	1.5	2.2	<p>(km)</p> <p>☀ (向上)</p> <p>■ 目標達成度</p> <p>■ (高)</p>
評価	目標値は令和2年度までの累計(実績値も同様の考え方) (状況) 平成30年度において0.5kmの水路整備が完了したことにより、累計整備延長が1.5kmとなっています(整備計画:平成28~31年度)。 (原因) 施工2年目となり、平成29年度及び平成30年度と予定どおりに整備が進捗していることが、要因です。									

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 生産性が高い農業経営基盤の整備

指標 ③	農地集積率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき																	
	成果	業務取得	上がると良い	農政課	%	20.1	24.9	32.9	70																	
評価	担い手耕作面積/ほ場整備対象農用地面積				<p>(%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H26</td><td>20.1</td></tr> <tr><td>H27</td><td>24.9</td></tr> <tr><td>H28</td><td>24.9</td></tr> <tr><td>H29</td><td>24.9</td></tr> <tr><td>H30</td><td>32.9</td></tr> <tr><td>H31</td><td>-</td></tr> <tr><td>R02</td><td>70</td></tr> </table>					年度	実績値	H26	20.1	H27	24.9	H28	24.9	H29	24.9	H30	32.9	H31	-	R02	70	☀ (横ばい)
	年度	実績値																								
H26	20.1																									
H27	24.9																									
H28	24.9																									
H29	24.9																									
H30	32.9																									
H31	-																									
R02	70																									
	<p>(状況) 平成30年度は32.9%で、後期基準値より12.8^ホ イト、平成29年度より8.0^ホ イト増加しています。 (原因) 北部工区に続き西部工区の面的整備が完了し、作付けが再開されたことにより、農地集積率も増加傾向にあるものと考えられます。ただし、中部・東部工区が面的整備の実施によって休耕していることが、大きな向上に繋がらない要因です。</p>				目標 達成度	■■ (中)																				

基本事業02 生産性が高い農業経営基盤の整備

指標 ④	新たな園芸施設の設置面積 (累計)			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき																	
	成果	業務取得	上がると良い	農政課	m ²	0	0	168	825																	
評価	目標値は令和2年度までの累計(実績値も同様の考え方)				<p>(m²)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H26</td><td>0</td></tr> <tr><td>H27</td><td>0</td></tr> <tr><td>H28</td><td>0</td></tr> <tr><td>H29</td><td>0</td></tr> <tr><td>H30</td><td>168</td></tr> <tr><td>H31</td><td>-</td></tr> <tr><td>R02</td><td>825</td></tr> </table>					年度	実績値	H26	0	H27	0	H28	0	H29	0	H30	168	H31	-	R02	825	☀ (横ばい)
	年度	実績値																								
H26	0																									
H27	0																									
H28	0																									
H29	0																									
H30	168																									
H31	-																									
R02	825																									
	<p>(状況) 平成30年度は168m²で、後期基準値及び平成29年度より168m²増加しています。 (原因) 本市におけるビニールハウス建設補助金を活用し、新たに1棟が建設されたことが、要因です。一方で、大きな向上のためには、兼業農家が多い本市においては、水稻主体の経営から園芸作物の周年栽培へ転換するに当たり、必要となる労働力の確保という課題解決が必要と考えます。</p>				目標 達成度	■■ (低)																				

基本事業03 地産地消の推進

指標 ①	地元農産物を購入したことがある市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき																	
	成果	市民アンケート	上がると良い	農政課	%	64.7	64.2	63	→																	
評価	<p>(状況) 平成30年度は63.0%で、後期基準値より1.7^ホ イト、平成29年度より1.2^ホ イト減少しましたが、市民アンケートの指標であり統計誤差の範囲です。 (原因) 地元農産物の購入者割合は減少しましたが、年間の購入回数については、1回程度購入者の割合だけが減少し、それ以外の複数回購入者の割合は増加していることから、概ね順調と考えられます。</p>				<p>(%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H26</td><td>64.7</td></tr> <tr><td>H27</td><td>64.2</td></tr> <tr><td>H28</td><td>64.2</td></tr> <tr><td>H29</td><td>64.2</td></tr> <tr><td>H30</td><td>63</td></tr> <tr><td>H31</td><td>-</td></tr> <tr><td>R02</td><td>70</td></tr> </table>					年度	実績値	H26	64.7	H27	64.2	H28	64.2	H29	64.2	H30	63	H31	-	R02	70	☁ (横ばい)
	年度	実績値																								
H26	64.7																									
H27	64.2																									
H28	64.2																									
H29	64.2																									
H30	63																									
H31	-																									
R02	70																									
					目標 達成度	■■ (中)																				

政策 05 集い つながり 活気あふれるまち

施策 02 商工業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
商工業者、商工業団体、勤労者、就職希望者	商工業が活性化し、雇用の拡大が図られています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	市内総生産額(第二次産業)			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	社会	業務取得	上がると良い						
	各年度の指標は2か年前の値			億円	379	437		—	
評 価	(状況) 平成30年度の指標値(平成28年度実績)が、宮城県から公表されていません。								---
					目標 達成度	---			

指標 ②	市内総生産額(第三次産業※公務除く)			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	社会	業務取得	上がると良い						
	平成29年度から指標内容変更。各年度の指標は2か年前の値			億円	—	1,073		—	
評 価	(状況) 平成30年度の指標値(平成28年度実績)が、宮城県から公表されていません。								---
					目標 達成度	---			

指標 ③	有効求人倍率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	社会	業務取得	上がると良い						
	塩釜公共職業安定所管内における当該年度3月時点の率			倍	0.87	1.06	1.14	—	
評 価	(状況) 平成30年度は1.14倍で、平成29年度より0.08ポイント、後期基準値より0.27ポイント増加しています。 (原因) 全国的な景気の動向として企業の人手不足により求人件数が増加していることが要因と考えられます。								☀ (横ばい)
					目標 達成度	---			

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 地域商業の活性化
基本事業 02 企業の経営支援
基本事業 03 雇用・就労の支援

基本事業01 地域商業の活性化

指標①	市内の小売・飲食業者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	社会	業務取得	上がると良い	店	608	555	549	—	(横ばい)
評価									目標達成度
	<p>(状況) 平成30年度は549店で、平成29年度より6店、後期基準値より59店減少しており、横ばいです。 (原因) 新規店舗が20店増加したものの、平成29年度と比較し6店舗減少しており、東日本大震災による工場地帯の従業者数の減少に伴う飲食店利用者の減少による廃業や、事業承継者不足等も要因と考えられます。</p>							---	

基本事業01 地域商業の活性化

指標②	食料品や日用品を市内で買う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	%	90.9	90.2	90.8	→	(横ばい)
評価									目標達成度
	<p>(状況) 平成30年度は90.8%で、平成29年度より0.6ポイント増加、後期基準値より0.1ポイント減少していますが、市民アンケートの指標であり統計誤差の範囲です。 (原因) 市内のスーパーマーケットや大型商業施設が充実しているため、市外へ行かなくても食料品や日用品を購入出来ることが要因と考えられます。ただし、商店街や商店での購入は10%未満となっています。</p>							■ (中)	

基本事業01 地域商業の活性化

指標③	市内の飲食店を利用する市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	%	56.1	57.4	54	→	(横ばい)
評価									目標達成度
	<p>(状況) 平成30年度は54.0%で、平成29年度より3.4ポイント、後期基準値より2.1ポイント減少しています。 (原因) 平成29年度と比較すると20歳代及び30歳代において、市内の飲食店の利用割合が減少しています。SNSの普及で飲食店数、情報の多い仙台市で外食している割合が高いことが考えられます。</p>							■ (中)	

基本事業02 企業の経営支援

指標①	市内の事業者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	社会	業務取得	上がると良い	事業者	1,713	1,665	1,666	—	(横ばい)
評価									目標達成度
	<p>(状況) 平成30年度は1,666事業者で、平成29年度より1事業者増加しましたが、後期基準値より47事業者減少しており、横ばいです。 (原因) 震災復興も進み、業種により増加に転じたものもみられますが、後期基準値に満たないのは、事業主の高齢化・後継者不足等が要因と考えられます。</p>							---	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 雇用・就労の支援

指標 ①	地域職業相談室の就職者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき																							
	成果	業務取得	上がると良い	商工観光課	人	975	829	796	1,050																								
評価	<p>(状況) 平成30年度は796人で、平成29年度より33人、後期基準値より179人減少しています。</p> <p>(原因) 相談件数(平成29年度5,425件、平成30年度5,391件)及び紹介件数(平成29年度3,425件、平成30年度3,295件)が減少しているため、就職者数も減少していることが要因です。また、相談室以外の媒体等(就職情報サイト等)を利用して就職している者が増えていることも、要因の1つと考えられます。</p>				<table border="1"> <caption>Line Graph Data</caption> <thead> <tr> <th>Year</th> <th>Actual Value (人)</th> <th>Target Value (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>975</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>~900</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>829</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>796</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>796</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>-</td> <td>1,050</td> </tr> </tbody> </table>				Year	Actual Value (人)	Target Value (人)	H26	975	-	H27	~900	-	H28	829	-	H29	796	-	H30	796	-	H31	-	-	R02	-	1,050	<p>☔ (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (低)</p>
Year	Actual Value (人)	Target Value (人)																															
H26	975	-																															
H27	~900	-																															
H28	829	-																															
H29	796	-																															
H30	796	-																															
H31	-	-																															
R02	-	1,050																															


政策 05 集い つながり 活気あふれるまち

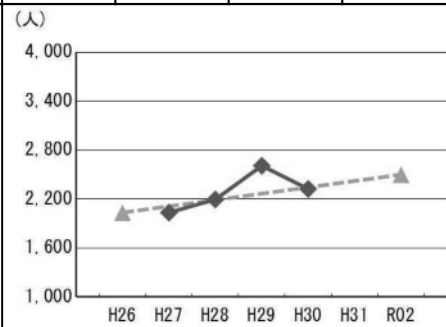
施策 03 企業誘致の推進


施策のプロフィール

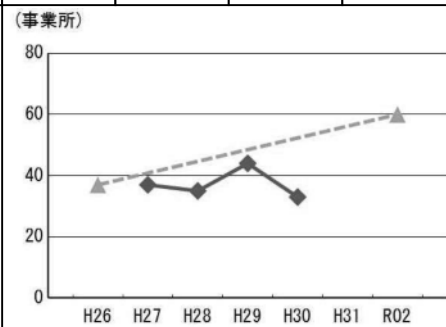
施策の対象	施策の意図
進出を希望する企業、業務拡大を目指す既存企業	市内に新規立地する企業が増加し、雇用が拡大しています。

施策の成果状況と評価

指標①	市内製造業の従業者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	社会	業務取得	上がると良い							商工観光課
評価	各指標は2か年前の値(後期計画期間から見直し)				人	2,035	2,609	2,325	2,500	 (向上)
	(状況) 平成30年度(平成28年度実績)は2,325人で、後期基準値より290人増加しておりますが、平成29年度(平成27年度実績)より284人減少しています。 (原因) 東日本大震災の影響で従業員数が減少していましたが、復旧・復興が進展し、近年は従業員数が増加しています。									



指標②	市内製造業者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	社会	業務取得	上がると良い							商工観光課
評価	各指標は2か年前の値(後期計画期間から見直し)				事業所	37	44	33	60	 (横ばい)
	(状況) 平成30年度(平成28年度実績)は33事業所で、後期基準値より4事業所、平成29年度(平成27年度実績)より11事業所減少しています。 (原因) 全国的な景気の影響により、事業所数は若干の減少がみられるものの、ほぼ横ばいで推移しています。									



□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 津波復興拠点への企業誘致

基本事業 02 企業進出の促進

基本事業01 津波復興拠点への企業誘致

指標①	津波復興拠点の立地面積率（さんみらい多賀城・復興団地）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	商工観光課	%	0	55	64	100
評価	<p>(状況) 平成30年度は64.0%で、平成29年度より9.0ポイント増加しています。立地事業者数の累計は、平成27年度2社、平成28年度6社、平成29年度9社、平成30年度10社となっています。</p> <p>(原因) 立地事業所数の順調な増加が、要因です。</p>								目標達成度
					■ ■ ■ (高)				

基本事業02 企業進出の促進

指標①	新たに立地した事業所数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	社会	業務取得	上がると良い	商工観光課	事業所	92	93	85	100
評価	<p>年度内の新規事業所数</p> <p>(状況) 平成30年度は85事業所で、平成29年度より8事業所、後期基準値より7事業所減少しております。</p> <p>(原因) 平成28年に市街地再開発ビルが竣工したことにより、多賀城駅周辺に賑わいが創出され、新たな事業所がすでに進出し、企業の新規進出の動きが少なくなっていることが要因と考えられます。</p>								目標達成度
	■ ■ (中)								

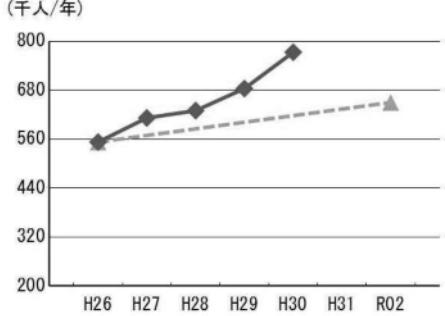

政策 05 集い つながり 活気あふれるまち

施策 04 観光の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市全域、市内外からの来客者	多賀城市に来る観光客が増加し、イベント等での賑わいが増えています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	観光客入込数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	商工観光課	千人/ 年	553	684	773	650
評 価	(状況) 平成30年度は773千人で、平成29年度より89千人、後期基準より220千人増加し、後期目標値を達成しています。一方で、市内宿泊者が、復旧・復興事業が収束に向かっており減少傾向にあります。 (原因) 「東大寺と東北～復興を支えた人々の祈り」とその関連イベントなど、東北歴史博物館等で開催されたイベントが開催されたことが要因と考えられます。				(千人/年) 			 目 標 達成度	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 多賀城市のPR
基本事業 02 観光推進団体等への支援
基本事業 03 観光しやすいまちへの環境整備

基本事業01 多賀城市のPR

指標①	観光協会のホームページアクセス数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	商工観光課	件/年	105,436	96,808	80,708	120,000	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 平成30年度は80,708件で、平成29年度より約1万6千件、後期基準値より約2万5千件減少しています。 (原因) 平成28年度から観光協会Facebookを開設し、イベント等情報発信についてFacebookを中心に発信しています。情報収集の手段としてスマートフォンですぐ見ることができるFacebookを活用する方が増えてきたことが、要因と考えられます。</p>								目 標 達成度	
									■ ■ ■ (低)	

基本事業01 多賀城市のPR

指標②	観光PRに係るキャンペーン及び物販等の実施回数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	商工観光課	回/年	16	26	31	20	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 平成30年度は31回で、平成29年度より5回、後期基準値より15回増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 県主体での誘客キャラバンや各種イベントでの物販など、観光をPRする機会が増えてきたことが、要因です。</p>								目 標 達成度	
									🏰 (達成)	

基本事業01 多賀城市のPR

指標③	観光関連情報のマスメディアの掲出件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	商工観光課	件/年	—	128	123	20	☀ (横ばい)
評価	<p>(状況) 平成30年度は123件で、平成29年度より5件減少しましたが、平成28年度の92件より31件増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 新聞、テレビ、ラジオや雑誌などを活用し、観光の情報提供を行いました。平成29年度及び平成30年度は「東大寺と東北～復興を支えた人々の祈り」のPRを積極的に行ったことが、要因です。平成29年度より減少したことは、平成30年6月に同特別展が終了したことが要因です。</p>								目 標 達成度	
									🏰 (達成)	

基本事業02 観光推進団体等への支援

指標①	市民主体の誘客イベント数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	商工観光課	件/年	10	15	17	30	☀ (横ばい)
評価	<p>(状況) 平成30年度は17件で、平成29年度より2件、後期基準値より7件増加しています。 (原因) 毎年実施しているイベントに加え、周年記念イベント等による物販など、観光をPRする機会が増えたことが、要因と考えられます。</p>								目 標 達成度	
									■ ■ ■ (中)	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 観光推進団体等への支援

指標②	主体的に誘客イベントを行っている団体数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	商工観光課	団体	10	10	11	10	
評価	<p>(状況) 平成30年度は11団体で、後期基準値及び平成29年度より1団体増えており、後期目標値を達成しています。 (原因) 各種イベントで賑わい創出の場の機会が増えてきたことが、要因と考えられます。</p>									☀ (横ばい)
					目標達成度	☑ (達成)				

基本事業03 観光しやすいまちへの環境整備

指標①	観光しやすいまちへの整備件数 (累計)				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	商工観光課	件	143	165	165	150	
評価	<p>目標値は令和2年度までの累計(実績値も同様の考え方) (状況) 平成30年度は165件で、後期基準値より22件増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 観光サイン整備計画に基づき計画的に施工しています。新たに設置した箇所はありませんでした。</p>									☀ (横ばい)
					目標達成度	☑ (達成)				

基本事業03 観光しやすいまちへの環境整備

指標②	観光客の満足度				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	課独自調査	上がると良い	商工観光課	%	—	53.4	48.7	→	
評価	<p>(状況) 平成30年度は48.7%で、平成29年度より4.7ポイント減少しましたが、平成28年度の44.8%より3.9ポイント増加しており、横ばいです。市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 (原因) 「まち歩きイベント」参加者を対象としたアンケート結果から、60歳以上の参加した方が88%であり、かつ、5回以上参加した方が63%を占めており、イベントの取組が定着してきたと考えられます。</p>									☀ (横ばい)
					目標達成度	■ (中)				

政策6

心がかよう地域の絆を育むまち

<地域経営分野>

政策 06 心がかよう地域の絆を育むまち

施策 01 地域コミュニティの充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
自治会・町内会、自治会・町内会のリーダー、市民	自治会・町内会の活動が活発に行われ、暮らしやすい地域になっています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	自治会・町内会活動に参加している市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	29	29.8	25.3	→
評価	<p>(状況) 平成30年度は25.3%で、平成29年度より4.5ポイント、後期基準値より3.7ポイント減少しており、市民アンケートの指標で統計誤差の範囲内ですが、減少傾向にあります。</p> <p>(原因) 年齢別では75歳以上が42.4%で最も多くなっています。65歳以上の方の参加割合はやや増加傾向にあるものの、50歳未満の参加割合が減少傾向にあります。仕事をしており、小中学生の子どもがいない世代については、自治会・町内会活動に関わる機会が少ないことが要因と考えられます。</p>								目標 達成度 ■ ■ ■ (低)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01	自治会・町内会活動の啓発
基本事業 02	自治会・町内会への支援
基本事業 03	自治会・町内会活動支援施設の整備
基本事業 04	地域経営の基盤構築
基本事業 05	共生社会の推進

基本事業01 自治会・町内会活動の啓発

指標①	自治会・町内会活動の必要性を理解している市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	37.6	41.8	42.2	→
評価	(状況) 平成30年度は42.2%で、平成29年度より0.4ポイント、後期基準値より4.6ポイント増加しています。 (原因) 65歳以上では町内会活動の必要性を感じている割合が50%を超えており、増加傾向になっていることが要因です。一方で、39歳以下では30%以下の割合で横ばいとなっており、若い世代に関心を持っていただくことが課題です。								(横ばい) 目標達成度 (達成)

基本事業01 自治会・町内会活動の啓発

指標②	自治会・町内会加入率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	%	-	91.6	88.8	90
評価	平成29年度から指標の取り方を変更しています。 (状況) 平成30年度は88.8%で、平成29年度より2.8ポイント減少しています。 (原因) 加入率が90%以上である地域が平成29年度の26地区から5地区減少し21地区となっています。若い世代の自治会・町内会活動への関心が低い中で、転入世帯等の加入率が低くなっていることが要因と考えられます。								(横ばい) 目標達成度 (中)

基本事業02 自治会・町内会への支援

指標①	自治会・町内会活動に対する行政からの支援メニューを活用した地域数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	自治会等	19	35	29	46
評価	(状況) 平成30年度は29自治会等で、後期基準値より10自治会等増加しましたが、平成29年度よりは6自治会等減少しています。 (原因) 健康や福祉に関する講座の活用が多くなっていることが要因です。一方で平成29年度より減少したのは、支援メニューが固定化傾向にあることが要因と考えられます。								(横ばい) 目標達成度 (低)

基本事業03 自治会・町内会活動支援施設の整備

指標①	自治会・町内会活動を行うための場所が充足していると思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	44.7	47.2	48.4	→
評価	(状況) 平成30年度は48.4%で、平成29年度より1.2ポイント、後期基準値より3.7ポイント増加しています。 (原因) 平成22年度からの地区集会所整備補助の増額や、被災地域交流拠点整備事業補助により地区集会所の整備がある程度進んでいることが要因と考えられます。								(横ばい) 目標達成度 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 自治会・町内会活動支援施設の整備

指標②	安全性や利便性が改善された活動拠点数(累計)				単位	基準値(H26)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	箇所	24	36	39	35	
評価	目標値は令和2年度までの累計(実績値も同様の考え方)									☀️ (向上)
	<p>(状況) 平成30年度は39か所で、平成29年度より3か所、後期基準値より15か所増加し、後期目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 平成22年度からの地区集会所整備補助金の増額及び災地域交流拠点整備補助の活用により、地区集会所の修繕が進んでいることが要因と考えられます。</p>									■ (達成)

基本事業04 地域経営の基盤構築

指標①	多様な主体(他の町内会、NPO、企業等)との広域連携等により地域課題解決に取り組み、効果が現れた自治会・町内会の数				単位	基準値(H26)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	団体	9	18	18	23	
評価										☀️ (横ばい)
	<p>(状況) 平成30年度は18団体で、平成29年度と同数値ですが、後期基準値より9団体増加しています。すでに取組を始めている高橋地区では、4地区の合同により自立的・活発な町内会活動が行われており、広域連携の効果が見られます。</p> <p>(原因) 平成28年度に八幡地域の5区と桜木地域の4区が連携する取組を始め、平成30年度は行政区長に対し、情報提供を行うなど、地域の課題や取組を共有・意見交換する場の提供をしましたが、新たに取組を始めた自治会・町内会はありませんでした。</p>									■ (低)

基本事業05 共生社会の推進

指標①	性別や国籍等で差別されず、人権が尊重されるまちだと思う市民割合				単位	基準値(H26)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	54.7	56.6	55.2	➔	
評価										☀️ (横ばい)
	<p>(状況) 平成30年度は55.2%で、平成29年度より1.4ポイント減少、後期基準値より0.5ポイント増加しており、横ばいです。市民アンケートの指標であり統計誤差の範囲です。安心して暮らせるまちだと思う市民の割合は、性別や年代での差異は見られません。</p> <p>(原因) 男女共同参画等に関する取組や多賀城市国際交流協会が行っている事業が成果の維持につながっている要因と考えられます。</p>									☀️ (達成)



政策 06 心がかよう地域の絆を育むまち



施策 02 市民活動の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民活動団体、市民活動を実践している市民、市民（個人を含む多賀城市を構成する多様な主体）、市職員	市民による自主・自発的な活動が活発に行われています。

施策の成果状況と評価

指標①	団体情報ファイルに登録されている市民活動団体数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い						
	各年度末現在の数値。登録団体数は近隣二市三町の団体を対象			団体	172	259	287	200	 (向上)
評価	(状況) 平成30年度は287団体で、平成29年度より28団体、後期基準値より115団体増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 市民活動サポートセンターの相談対応や事業への参加を経て活動を始めたり、新たに本市に拠点をおいて活動を始めた団体が増えたことが要因と考えられます。							目 標 達 成 度  (達成)	

指標②	NPO活動やボランティア活動等の市民活動を行っている市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い						
				%	12.1	9.6	10.4	→	 (横ばい)
評価	(状況) 平成30年度は10.4%で、平成29年度より0.8ポイント増加していますが、後期基準値より1.7ポイント減少しています。 (原因) 市民活動への参加率は65歳以上の高齢世代が高いものの、20～60歳の現役世代での参加が得られないことが要因です。現役世代でも「今後参加してみたい」と答えている市民は一定程度いることから、仕事をしながらも参加できる機会が不足していることが、大きな向上に繋がらない要因と考えられます。							目 標 達 成 度  (低)	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 市民活動の啓発
基本事業 02 市民活動団体への支援
基本事業 03 市民協働実践のための職員育成

基本事業01 市民活動の啓発

指標①	市民活動に参画したいと思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	49.3	51.4	49.9	→
評価	<p>(状況) 平成30年度は49.9%で、平成29年度より1.5ポイント減少し、後期基準値より0.6ポイント増加しています。 (原因) 50歳以上では、現在市民活動に参加している人と今後参加してみたい人を合わせた割合は50%を超えています。20歳～50歳では40%程度となっていることが横ばいで推移している要因です。今後は、若い世代に市民活動に興味を持っていただくことや、意欲のある市民に参加のきっかけを作っていくことが課題です。</p>								(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)

基本事業02 市民活動団体への支援

指標①	市の支援が役立っていると思う市民活動実践者割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	課独自調査	上がると良い	地域コミュニティ課	%	62.7	64.7	60.5	→
評価	<p>(状況) 平成30年度は60.5%で、平成29年度より4.2ポイント、後期基準値より2.2ポイント減少しています。 (原因) 施設や設備が適切に維持・管理されており、利用者から一定の評価を得ていると考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 ■■ (中)

基本事業03 市民協働実践のための職員育成

指標①	市民参画や協働を日常業務で実践している職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	20.2	23.5	22.2	→
評価	<p>(状況) 平成30年度は22.2%で、平成29年度より1.3ポイント減少していますが、後期基準値より2.0ポイント増加しています。 (原因) 市民参画や協働を日常業務で実践している職員割合は、平成29年度より若干減少しましたが、「趣旨や進め方は理解しているがまだ業務で実践できていない」と答えた職員の割合は、40.3%で7.6ポイント増加しており、理解が一定程度進んでいることが要因と考えられます。今後は職員研修、情報提供等を通じたより実践的なアプローチが必要だと考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 ■■ (中)

基本事業03 市民協働実践のための職員育成

指標②	市民参画や協働の趣旨を理解している職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	90.4	89.4	90.8	→
評価	<p>(状況) 平成30年度は90.8%で、平成29年度より1.4ポイント、後期基準値より0.4ポイント増加しています。 (原因) 「趣旨や進め方は理解しているがまだ業務で実践できていない」と答えた職員の割合が、40.3%で7.6ポイント増加していることが要因です。一方で、日常業務で実践している職員割合は、ほぼ横ばいで推移しているため、理解をさらに定着させるとともに、実践に移すための研修等が必要だと考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 ■ (達成)

政策 06 心がかよう地域の絆を育むまち

施策 03 開かれた市政の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民及び市内事業者(多賀城市に 関心のある市外の者を含む。)	市民の市政への関心が高まっています。 市民が行政との間で適切に情報が共有されています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	市政に関心がある市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課						
					%	71.2	70.7	66.3	→	☂ (低下)
評 価	(状況) 平成30年度は66.3%で、平成29年度より4.4ポイント、後期基準値より4.9ポイント減少しており、順調ではありません。平成29年度と比較すると、30歳から39歳までの年齢層で10.7ポイント低下しました。また津波浸水地域における減少が大きくなっています。 (原因) 津波浸水地域において関心が高かった復旧復興事業が一段落したことが、要因の1つと考えられます。									目標 達成度
						■ (中)				

指標 ②	市民と行政との間で市政情報(地域情報、行政情報)が適切に共有されていると思う市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課						
					%	89.6	90.8	90.9	→	☀ (横ばい)
評 価	(状況) 平成30年度は90.9%で、平成29年度より0.1ポイント、後期基準値より1.3ポイント増加しています。 (原因) 毎月の広報誌発行継続や、市ホームページ・Facebookでの情報発信、おぼんです懇談会の開催などが成果の維持につながっている要因と考えられます。									目標 達成度
						🏰 (達成)				

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 適切な情報の発信

基本事業 02 適切な情報の収集

基本事業01 適切な情報の発信

指標①	市政情報が適切に提供されていると思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	94	94.1	94.6	→
評価	<p>(状況) 平成30年度は94.6%で、平成29年度より0.5ポイント、後期基準値より0.6ポイント増加しています。 (原因) 広報多賀城に市民が登場する機会を増やしたことや市ホームページ、SNSそれぞれの特性を生かした情報発信に努めたことについて、市民に受け入れられていることが、要因と考えられます。</p>								目標達成度 🏰 (達成)

基本事業02 適切な情報の収集

指標①	市政に対する市民の意見・声を伝える場や機会に満足している市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	80.7	84	83.6	→
評価	<p>(状況) 平成30年度は83.6%で、平成29年度より0.4ポイント減少していますが、後期基準値より2.9ポイント増加しています。 (原因) 平成26年度のCMS(コンテンツ管理システム)導入によりメールでの問合せの環境が整ったことが、要因と考えられます。</p>								目標達成度 🏰 (達成)

政策7

理解と信頼で進める自律したまち

<行政経営分野>

政策 07 理解と信頼を進める自律したまち

施策 01 適正な事務の執行とサービスの提供

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、事業者、行政	行政事務が適正に執行され、市民サービスが提供されています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	窓口における市民サービスに満足している市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	総務課	%	85.2	87.5	89	
評 価	(状況) 平成30年度は89.0%で、平成29年度より1.5ポイント、後期基準値より3.8ポイント増加していますが、市民アンケートによる指標の統計誤差の範囲内であり、横ばいです。 (原因) 平成30年度は、平成29年度と同様に行政事務が適正に執行された結果と考えられます。								☀ (横ばい)
									目 標 達成度 🏰 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 適正な契約事務の執行
基本事業 02 適正な会計事務
基本事業 03 適正な選挙事務
基本事業 04 公正な監査事務
基本事業 05 保有情報の適正な管理

基本事業01 適正な契約事務の執行

指標①	工事成績調書の評価点数が75点以上の割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	管財課	%	56	63.5	88.5	65	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 平成30年度は88.5%で、平成29年度より25.0ポイント、後期基準値より32.5ポイント増加しています。</p> <p>(原因) 年度毎の実績値に高低はありますが、工事成績の平均点は向上しています。毎年開催している業者対象の技術説明会や技術職員を対象とした研修の効果が要因の1つと考えられます。</p>									☀ (向上)

基本事業02 適正な会計事務

指標①	例月出納検査時に指導された件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	会計課	件/年	1	0	11	0	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 平成30年度は11件で、平成29年度と比較し、11件の増加となっています。</p> <p>(原因) 平成30年度は、十分な審査態勢を欠く時期があり、決裁区分誤りなど、確認漏れ等による指摘・指導があったことが要因です。</p>									☔ (低下)

基本事業03 適正な選挙事務

指標①	選挙に関する事務処理ミス・トラブル件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	選挙管理委員会事務局	件/年	0	1	0	0	☀ (横ばい)
評価	<p>(状況) 平成30年度は0件です。</p> <p>(原因) 事務従事職員説明会の回数を増やし、職員への教育を徹底した効果が表れたと考えられます。</p>									☀ (横ばい)

基本事業03 適正な選挙事務

指標⑦	この1年間に行われた各種選挙の投票率（市長）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	社会	業務取得	その他	選挙管理委員会事務局	%	38.6	—	37.82	—	---
評価	<p>(状況) 平成30年8月5日執行の市長選挙の投票率は37.82%で、後期基準値である前回(平成26年8月3日執行)の同選挙より0.8ポイント減少しています。</p> <p>(原因) 市民の政治・社会に対する関心が低くなってきていることが要因の1つと考えられます。</p>									---

□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 公正な監査事務

指標①	定期監査時に指摘した事項数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	代替	業務取得	下がると良い	監査委員事務局	件/年	149	48	61	90	
評価	市の全部署を対象に財務及び事務事業の執行について年1回行う監査				(件/年)					☀ (向上)
	<p>(状況) 平成30年度は61件で、平成29年度より13件増加しましたが、後期基準値より88件減少し、後期目標値を達成しており、順調です。</p> <p>(原因) 指摘事項への措置状況の報告を求めていることで事務改善が促されていることが、順調に推移している要因と考えられます。平成29年度との比較では、主に文書事務に係る内容が増加したことが要因です。</p>									目標達成度 🏰 (達成)

基本事業04 公正な監査事務

指標②	例月出納検査時に指摘した事項数（上水道部を含む）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	代替	業務取得	下がると良い	監査委員事務局	件/年	1	0	11	0	
評価	会計管理者・水道事業管理者の現金出納事務を毎月検査するものです。				(件/年)					☂ (低下)
	<p>(状況) 平成30年度は11件で、後期基準値より10件、平成29年度より11件の増加となりました。</p> <p>(原因) 出納審査事務の誤り増加が、主要な要因です。</p>									目標達成度 🏰 (中)

基本事業05 保有情報の適正な管理

指標①	情報漏えい事件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	総務課	件/年	0	4	0	0	
評価	(状況) 平成30年度は0件です。				(件/年)					☀ (横ばい)
	<p>(原因) 平成29年度にメールの誤送信を含む4件の情報漏えい事件がありました。送信前に確認メッセージが出るように運用を変更したことで、適正な事務処理の執行ができていますと考えられます。</p>									目標達成度 🏰 (達成)

基本事業05 保有情報の適正な管理

指標②	個人情報開示請求に対する決定に変更のあった件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	総務課	件/年	0	0	0	0	
評価	(状況) 平成30年度は0件で、後期基準値を維持しています。				(件/年)					☀ (横ばい)
	<p>(原因) 各課等において、個人情報保護制度を理解し、開示請求者に対して適切な説明を行うなど、適正な事務処理に努めている成果と考えられます。</p>									目標達成度 🏰 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業05 保有情報の適正な管理

指標 ③	公文書開示請求に対する決定に変更のあった件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき																								
	成果	業務取得	下がると良い	総務課	件/年	9	0	0	0	☀ (横ばい)																							
評価	<p>(状況) 平成30年度は0件で、平成27年度から維持しています。 (原因) 各課等において、情報公開制度を理解し、開示請求者に対して適切な説明を行うなど、適正な事務処理に努めている成果と考えられます。</p>			<p>(件/年)</p> <table border="1"> <caption>実績値と目標値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (件/年)</th> <th>目標値 (件/年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>0</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>0</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (件/年)	目標値 (件/年)	H26	9	9	H27	0	8	H28	0	6	H29	0	4	H30	0	2	H31	0	0	R02	0	0	目標 達成度 👑 (達成)
年度	実績値 (件/年)	目標値 (件/年)																															
H26	9	9																															
H27	0	8																															
H28	0	6																															
H29	0	4																															
H30	0	2																															
H31	0	0																															
R02	0	0																															

政策 07 理解と信頼で進める自律したまち

施策 02 組織・人事マネジメント

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
職員	人材育成がなされ、職員の能力が向上し、十分に発揮されています。

施策の成果状況と評価

指標①	組織・職員が、市民・地域の問題や行政課題に関し、迅速かつ適切に対応できていると思う職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき													
	成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	—	73.6	76.8	→	☀ (向上)												
評価	平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。								☀ (向上)													
	<p>(状況) 平成30年度は76.8%で、平成27年度の70.7%より6.1%ポイント増加し、平成29年度より3.2%ポイント増加し、順調です。主事・主査級の職員における割合は平成29年度から引き続き増加しているものの、いまだ平均より4.6%ポイント低くなっています。</p> <p>(原因) 行政評価・育成評価の各制度の着実な運用により、業務に対する職員の目的意識が明確化され、課題解決行動に繋がっていることが要因と考えられます。主事・主査級の職員については、所属長等からのOJTなどによる一層の働きかけが必要です。</p>				<table border="1"> <caption>指標①の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>—</td></tr> <tr><td>H27</td><td>70.7</td></tr> <tr><td>H28</td><td>70.7</td></tr> <tr><td>H29</td><td>73.6</td></tr> <tr><td>H30</td><td>76.8</td></tr> <tr><td>R02</td><td>81.4</td></tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	H26	—	H27	70.7	H28	70.7	H29	73.6	H30	76.8	R02
年度	実績値 (%)																					
H26	—																					
H27	70.7																					
H28	70.7																					
H29	73.6																					
H30	76.8																					
R02	81.4																					

指標②	職場にチームワークがあり、活気に満ちていると思う職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき													
	成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	—	72.5	73.2	→	☀ (横ばい)												
評価	平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。								☀ (横ばい)													
	<p>(状況) 平成30年度は73.2%で、平成27年度の71.8%より1.4%ポイント増加し、平成29年度より0.7%ポイント増加しており、横ばいで推移しています。係長級の職員で平均より7.9%ポイント低くなっています。</p> <p>(原因) おおむね業務の連携・協力が行われていることが要因と考えられます。</p>				<table border="1"> <caption>指標②の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>—</td></tr> <tr><td>H27</td><td>71.8</td></tr> <tr><td>H28</td><td>71.8</td></tr> <tr><td>H29</td><td>72.5</td></tr> <tr><td>H30</td><td>73.2</td></tr> <tr><td>R02</td><td>70.0</td></tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	H26	—	H27	71.8	H28	71.8	H29	72.5	H30	73.2	R02
年度	実績値 (%)																					
H26	—																					
H27	71.8																					
H28	71.8																					
H29	72.5																					
H30	73.2																					
R02	70.0																					

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 効果的・効率的な組織づくり
基本事業 02 効果的な人材育成と適正な人事管理
基本事業 03 安全衛生への対処

基本事業01 効果的・効率的な組織づくり

指標①	組織間・組織内連携が十分に図られていると思う職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	市長公室	%	—	55	63	➔
評価	平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。				(状況) 平成30年度は63.0%で、平成27年度の52.3%より10.7ポイント、平成29年度より8.0ポイント増加しており、順調です。職位別にみると、平成27年度との比較では全ての職位で向上しており、平成29年度との比較では特に主事・主査級で16.5ポイントと大幅に向上しています。 (原因) 主事・主査級、係長級などを対象とした研修を実施しており、組織を超えた活動を通して横の連携が深まったことが要因の1つと考えられます。	(向上)	目標達成度	■■■ (高)	

基本事業01 効果的・効率的な組織づくり

指標②	類似団体平均職員数との差異(普通会計修正値)			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	市長公室	人	-2	43	43	0
評価	平成28年度から類似団体区分が変更となっています。				(状況) 国勢調査の結果によって平成28年度及び平成29年度に多賀城市を含む複数の自治体で類似団体区分が変更となりました。これによって、比較を行う全国平均値に大きな動きがあり、後期基準値との比較検討ができない状況です。平成30年度と平成29年度とは同数値で推移しています。 (原因) 適正定員管理指針等に基づき適正な定員管理を行っています。定員管理計画では、平成29年度から令和2年度までの復興計画期間中、現在の職員数を維持することとしており、計画どおりに推移しています。	---	目標達成度	---	

基本事業01 効果的・効率的な組織づくり

指標③	自分の課で業務の引継ぎ、異動者の早期戦力化の仕組みができていると思う職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	市長公室	%	—	61.3	68.6	➔
評価	平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。				(状況) 平成30年度は68.6%で、平成29年度より7.3ポイント、平成27年度の66.6%より2.0ポイント増加しており、横ばいです。職位別では、平成29年度と比較して主事・主査級では8.9ポイント増加、係長級では13.5ポイントの増加と大幅に向上しています。 (原因) 大量退職時代を踏まえて、各部各課等でそれぞれ業務のマニュアル化等に取り組んでいることで、異動の影響が大きい職位の回答に反映されていることが要因と考えられます。	(横ばい)	目標達成度	■■■ (中)	

基本事業02 効果的な人材育成と適正な人事管理

指標①	適材適所の人事配置がなされていると思う職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	—	57.6	57.8	➔
評価	平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。				(状況) 平成30年度は57.8%で、平成27年度の57.5%より0.3ポイント、平成29年度より0.2ポイント増加し、横ばいで推移しています。 (原因) 育成評価や上下評価等により、職員の適性や今後のキャリアプラン等を考慮して、人事配置を行う努力をしているものの、大量退職期の大幅な異動に伴い、各職員が自らの能力や個性を最大限に発揮できていないと感じていることが要因と考えられます。	(横ばい)	目標達成度	■■■ (低)	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 効果的な人材育成と適正な人事管理

指標 ②	人材育成により能力が向上したと思う職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	73.6	74.2	79.5	→
評価	<p>(状況) 平成30年度は79.5%で、平成29年度より5.3ポイント、後期基準値より5.9ポイント増加し、順調です。 (原因) 日常業務を通じた自らの学習や、上司・先輩等からのOJT等による育成環境が機能していることが要因と考えられます。</p>								☀ (向上)
					目標 達成度	🏰 (達成)			

基本事業03 安全衛生への対処

指標 ①	健康で安心して働くことができると思う職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	82.1	72.8	75.1	→
評価	<p>(状況) 平成30年度は75.1%で、平成29年度より2.3ポイント増加しましたが、後期基準値より7.0ポイント減少しています。ほとんどの職位で、平成29年度に比べて成果が向上しているものの、後期基準値には届かず、順調ではありません。 (原因) 各職員における業務量バランスに偏りがあること、時間外勤務が過多になっていること、クレーム対応等によるストレスなどが要因と考えられます。</p>								☔ (低下)
					目標 達成度	■ ■ (低)			

基本事業03 安全衛生への対処

指標 ②	公務災害の発生件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	総務課	件/年	2	4	5	0
評価	<p>(状況) 平成30年度は5件で、平成29年度より1件増加し、順調ではありません。通常業務中に発生した公務災害は3件、通勤途中での発生が2件でした。雨天時の転倒など、本人の注意不足による災害が発生しています。 (原因) それぞれの公務災害において、本人及び所属長への注意喚起が十分でなかったことも要因の1つと考えられます。</p>								☔ (低下)
					目標 達成度	■ ■ (低)			

政策 07 理解と信頼で進める自律したまち

施策 03 効果的・効率的な行財政経営の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
職員、市民、組織	行財政経営が効果的・効率的に行われ、まちづくりの目標が達成されています。

施策の成果状況と評価

指標①	施策目標の達成率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	市長公室	%	—	46	46	50
指標のうごき及び目標達成度は統計的観点から評価しません。									
評価	<p>(状況) 平成30年度は46%(19指標)で、平成29年度の46%(20指標)と比較すると横ばいですが、平成28年度の39%(16指標)より7ポイント増加しており、順調に推移しています。</p> <p>(原因) 政策3「歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち」の達成指標が平成28年度0指標より3指標増加していることが、主な要因です。文化財への関心が高まっていることや支援員の活用などによる教育環境の充実が図られていることが、要因の1つと考えられます。</p>								---
					目標達成度	---			

指標②	効果的・効率的なまちづくりが進められていると思う職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	市長公室	%	—	69.9	75.1	→
平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。									
評価	<p>(状況) 平成30年度は75.1%で、平成29年度より5.2ポイント、平成27年度の67.4%より7.7ポイント増加しており、順調です。職位別ではすべての職位で70%を超えて高い水準となっています。年齢別では、40代以上で79.5%となる一方で30代では63.0%となっています。</p> <p>(原因) 行政評価システムを活用した行財政経営について、次期総合計画策定に向けた動きの中で理解が進んだことが要因と考えられます。</p>								(向上)
					目標達成度	(中)			

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 成果志向に基づく行政経営の推進
基本事業 02 健全財政の維持
基本事業 03 公共建築物の管理活用
基本事業 04 公平で公正な課税と収納率向上
基本事業 05 I T 技術を活用した行政サービスの充実

基本事業01 成果志向に基づく行政経営の推進

指標①	基本事業目標の達成率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	市長公室	%	—	49	52	45
評価	指標のうごき及び目標達成度は統計的観点から評価しません。								目標達成度
	<p>(状況) 平成30年度は52%(104指標)で、平成29年度の49%(98指標)より3ポイント、平成28年度の39%(80指標)より13ポイント増加し、後期目標値を達成しており、順調に推移しています。</p> <p>(原因) 政策2「元気で健やかに暮らせるまち」の指標が、平成28年度13指標より9指標増加していることが、主要な要因です。健康づくりの推進や社会保障の充実に関する事業を展開していることが、効果に繋がっている要因と考えられます。</p>								目標達成度

基本事業01 成果志向に基づく行政経営の推進

指標②	行政評価の考え方を意識して事業を推進している職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	市長公室	%	75.9	80.2	83.6	→
評価	<p>(状況) 平成30年度は83.6%で、平成29年度より3.4ポイント、後期基準値より7.7ポイント増加しており、順調です。職位別では、主事・主査級が82.0%で平成29年度の72.0%より10.0ポイント増加しています。</p> <p>(原因) 平成30年度から主要な施策の成果に関する報告書にまちづくり報告書が包含され、また、次期総合計画策定に向けた動きが始まる中で、行政評価に触れる機会が増加し、理解が進んだことが要因と考えられます。</p>								目標達成度
	目標達成度								

基本事業02 健全財政の維持

指標①	基礎的財政収支（プライマリーバランス）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	市長公室	百万円	3,156	4,284	4,026	0
評価	目標値は0以上。(歳入決算額-市債借入額)-(歳出決算額-市債償還額)								目標達成度
	目標達成度								

基本事業02 健全財政の維持

指標②	実質公債費比率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	市長公室	%	11.7	9.1	8.1	9.6
評価	<p>(状況) 平成30年度は8.1%で、平成29年度より1.0ポイント、後期基準値より3.6ポイント減少しており、後期目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 平成29年度よりも税収等が増加したことにより、算定式の分母となる標準税収入額等が増加となったことと、平成30年度から新たに償還が開始となる市債の額以上に、平成29年度で完済となった市債の額が上回ったことにより、算定式の分子となる平成30年度元利償還額が減となったことが、要因です。</p>								目標達成度
	目標達成度								

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 健全財政の維持

指標③	経常収支比率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	市長公室	%	104.4	102.3	101.9	95.6	
評価	(状況) 平成30年度は101.9%で、平成29年度より0.4%引、後期基準値より2.5%引減少しており、横ばいです。 (原因) 税金等が増となったことにより、算定式の分母となる経常一般財源総額が平成29年度と比較し66百万円の増となったことが、要因です。								(横ばい) 目標達成度 (低)	

基本事業03 公共建築物の管理活用

指標①	市有建築物の維持管理上の事故件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	管財課	件/年	0	0	0	0	
評価	(状況) 平成30年度は0件で、後期目標値を達成しています。 (原因) 事故件数0件を目標とし、自主定期点検報告を受け、施設の予防保全を強化してきたことが要因と考えられます。								(横ばい) 目標達成度 (達成)	

基本事業03 公共建築物の管理活用

指標②	計画的な修繕の達成率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	管財課	%	100	36.4	25	100	
評価	施設整備計画で当該年度に改修予定の施設数に対する改修実施施設数 (状況) 平成30年度は、施設整備計画で8施設の改修工事等を予定していたところ、2施設の整備となり、達成率は25.0%となっています。予定施設のうち主な未実施の施設は、東豊中学校屋内運動場、東豊中学校エレベータ、文化センター、山王小学校校舎、鶴ヶ谷児童館、多賀城東小学校エレベータ等の改修事業です。 (原因) 国費の未配分や市民プールの整備の再検討が要因です。なお、平成28年度策定が多賀城市公共施設等総合管理計画と施設整備計画とのスケジュール調整も必要な状況となっています。								(低下) 目標達成度 (低)	

基本事業04 公平で公正な課税と収納率向上

指標①	行政不服審査申立により、課税誤りがあると認定された件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	その他	税務課	件/年	0	0	0	0	
評価	(状況) 平成30年度も0件で、後期目標値を達成しています。適正な課税となるよう努めているため、これまで行政不服審査法により課税誤りと認定された事案はありません。 (原因) OJTの実践や外部研修など、職員の業務遂行能力の向上を図り、適正な課税事務に努めてきました。また、納税通知書発送時には、各種税制度等を説明するチラシを同封するなど、課税の根拠等についてより分かりやすい説明に努めてきたことが、要因と考えられます。								--- 目標達成度 ---	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 公平で公正な課税と収納率向上

指標②	市税等の収納率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	収納課	%	96.8	98.06	98.04	96.5
評価	税目：市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、都市計画税								☀️ (向上)
	<p>(状況) 平成30年度は98.04%で、後期基準値より1.24ポイント増加、平成29年度より0.02ポイント低下しています。現年度分が99.19%で収納率の低下がみられたものの、滞納繰越分が35.04%で、平成29年度より1.26ポイント増加し、滞納繰越額は減少しています。</p> <p>(原因) 現年度分の収納率が低下しましたが滞納繰越分の収納率は向上しました。これは、差し押さえ等の滞納処分を強化する一方、生活困窮者には執行停止・欠損等を行うなど、滞納者の状況に応じた適切な滞納整理を実施してきたことが要因と考えられます。</p>								目標 達成度 🏰 (達成)

基本事業04 公平で公正な課税と収納率向上

指標③	滞納件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	収納課	件	4,658	3,233	3,204	4,500
評価	税目：市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、都市計画税								☀️ (向上)
	<p>(状況) 滞納件数は3,204件で、後期基準値より1,454件、平成29年度より29件減少しており、後期目標値を達成しております。</p> <p>(原因) 件数が増加している税目はありますが、全体としては減少となりました。これは、滞納者の状況等に応じた適切な滞納整理と早期の納税勧奨を実施していることが要因と考えられます。</p>								目標 達成度 🏰 (達成)

基本事業05 IT技術を活用した行政サービスの充実

指標①	市のITサービスを利用している市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	総務課	%	49.2	53.1	48.4	➡️
評価									☁️ (横ばい)
	<p>(状況) 平成30年度は48.4%で、平成29年度より4.7ポイント、後期基準値より0.8ポイント減少していますが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。</p> <p>(原因) 震災に係る情報収集手段として市ホームページ等が利用された平成23年度の58.6%をピークに下降傾向にありましたが、平成27年度に持ち直し以後は横ばいの状態にあります。平成30年度は、市民アンケート等にインターネットを介した回答受付や保育所入所申請の電子申請導入といった新たな取組みも行いましたが、大幅な増加には繋がっていない状況です。</p>								目標 達成度 ■ (中)

基本事業05 IT技術を活用した行政サービスの充実

指標②	ネットワーク・システムのダウン件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	総務課	件/年	0	0	0	0
評価									☀️ (横ばい)
	<p>(状況) 平成30年度は0件で、適切な保守運用管理が実施できています。</p> <p>(原因) 平成29年に通信回線の強化を実施したことにより、安定したネットワーク利用ができています。</p>								目標 達成度 🏰 (達成)

